

不撓不屈

ふとうふくつ

産口ボ提案で信頼

少子高齢化が進む昨今、労働現場でロボットを活用が進む。工作機械や周辺機器を扱う専門商社の宮脇機械プラントは、顧客が抱える課題に対し、機械に加え制御技術を実施した産業用ロボットを提案する。学生時代は農学部だった社長の宮脇隆一郎が、機械専門商社として1966年に創業。一代で年商約50億円の規模に成長させ、大手機械メーカーを含む取引

宮脇機械プラント ①

「生涯賭ける仕事」求めて

先の信頼も厚い。「ユーザとメーカーを技術で結ぶプロデューサー」が信条だ。

もともと実家はコメを海上輸送する回漕問屋や刃物の産地元売り（産元）卸問屋を営んでいた。宮脇が小学5年生の頃に終戦を迎え、その後しばらくは教育をまともに受けられる環境でなかった。後に大学に行きたいという思いを強くし、1年間浪人した末に京都大学に入学。だが、間もなく父が病気で急逝したため退学し、わずか19歳で家業を継いだ。

周囲に言われ、なんと

家業捨てて工作機械商社に

自動化時代捉える

その後もしばらく、同



創業間もない1968年当時。手探りで工作機械を鉄工所などに提案して歩いた。事業もうまくいかず、まずいばかり（宮脇）だった10〜20代。ついでにはカンナやノミが「フライス盤」や「旋盤」などの大道具盤など、さまざまな機械の写真と日本の機械メカ、自動化の方向性が目に見え込んでいった。そんなことを鮮明に覚えていた。ある日、仕入れの種類の違いも分からない先の鍛冶屋で生種が面白そうだと、偶然目にした決意した。

伝いをしていた宮脇。な「日刊工業新聞」に、これかな自分自身が生涯をまて見たことも聞いたこと賭けてもよいと思える仕事もなかった工作機械の

浪人しやうと手に入れた大学生活。だが間もなく父親が急逝。継いだ

www.mkp-fa.co.jp

▽所在地 兵庫県明石市北王子町2の26、078・927・1181▽社長 宮脇隆一郎氏▽従業員 29人▽設立 1966年（昭41）7月▽資本金 5500万円▽売上高 47億9000万円（17年3月期）▽URL